

●現地社員として日系企業をフィールドワークし、経営風土や日本人社員の仕事ぶりを追ったユニークな「民族誌」。異文化におけるカイシャとシャインを克明に描く。

# 友情と私利

## — 香港一日系スーパ―の人類学的研究

香港大学 王向華 著

本書は日本のスーパ―マーケットであるフメイ香港社における日本人社員と現地人社員の間の人間関係、ならびにインタラクシオンに関する人類学的研究である。この人間関係とインタラクシオンは衝突、人為的操作や友情関係なども含まれ、非常に複雑であるがゆえに、これらのどれか一つに集約することは不可能である。……フメイは当初、日本の地方スーパ―であり、香港に進出したのは一九八四年のことであった。その後十三年の間にフメイはマカオに一店舗、そして香港に九店舗を展開するに至ったが、一九九七年に倒産の憂き目を見ることとなった。

……本書は「Japanese Bosses, Chinese Workers: Power and Control in a Hong Kong Megastore [1999]」の自己批判ならびに大幅な修正である。

第一部は、三つの章からなり、フメイの歴史、香港の経済社会史、そして、フメイの香港進出過程についてそれぞれ論じる。その内の香港の経済社会史に関する章は、本書のために新たに書き下ろしたもので、他の二章も大幅に修正されている。第二部の二つの章は、経営コントロールとそれにもなう強制的権力とヘゲモニックな権力という二種類の権力が如何に招来されたのかについて考察している。また、第三部の三つの章は、日本人社員の間の人間関係、日本人社員と現地人社員との間の人間関係、現地人社員の間の人間関係について論じている。さらに、本書の三つの部すべてに新たに解説を付け加え、各章の記述に確固とした方向性を与えるための理論的枠組みを提示するよう心がけた。

本書は、筆者と瀬川昌久氏、芹澤知広氏、河口充勇氏らネイティブ人類学者との、クワヤマが主張するところの「オーブン・テキスト」としてのエスノグラフィを目指したものであり、筆者は日本社会と香港社会の双方に詳しいこの三人の学者に依頼して、本書に対するコメントを書いてもらった。彼らのコメントは、筆者の彼らのコメントに対する応答とともに本書の結論部を構成することになる。その意味で、彼らは、本書最終部分の共著者である。 (著者まえがきより)

### ●目次

まえがき

第一章 序論

第一部 文化と歴史

第二章 フメイ

第三章 香港の経済社会史 (一九〇〇～一九九七)

第四章 フメイの香港進出

第二部 文化から権力へ——媒介としての経営コントロール

第五章 経営支配の物質的基礎

第六章 経験とアイデンティティのポリティックスと経営のコントロール

第三部 文化と個人

第七章 フメイ香港の日本人社員間の関係

第八章 日本人社員と現地人社員との関係

第九章 現地人社員間の関係

第十章 オープン・テキストとしての結論

王向華氏の新たな著書によせて  
「社会現象」としてのフメイという可能性  
コメント  
(瀬川昌久)  
(河口充勇)  
(芹澤知広)

著者からの返答 (王向華)

あとがき

引用文献 (日文・英文・中文)・索引

### 体裁

・ A5判・並製  
・ 四五六頁

### 税込み定価

・ 三七八〇円  
(本体三六〇〇円)

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一四一九  
電話〇三(三八二八)九二四九  
http://www.fukyo.co.jp

注文書	
センター取扱品 流通	発売
風響社	TEL: 03-3838-9249
王向華著	税込み
友情と私利	三七八〇円
香港一日系スーパ―の人類学的研究	部
ISBN4-89489-027-5 C1039 ¥3600E	

[お客様控え]

ご氏名  
ご住所  
お電話

月 日